

超高分解能 OCT の 新たな可能性

2016年12月3日(土) 7:45 ~ 8:45

ベルサール渋谷ガーデン 第2会場 (ホール B)

画像提供：九州大学



座長

石橋 達朗 先生

九州大学 病院長・副学長

ご略歴

1975年 九州大学医学部 卒業
1981年 九州大学医学部大学院 (病理学教室) 卒業
1984年 南カリフォルニア大学 ドヘニー眼研究所 留学
1986年 九州大学医学部眼科 講師
1995年 九州大学医学部眼科 助教授
2001年 九州大学大学院医学研究院眼科学分野 教授
2013年 九州大学 副学長
2014年 九州大学病院 病院長

座長のことば

2016年にSD-OCTが登場し、広く臨床で普及して以来、光源や信号解析技術の進歩に伴って、OCTは著しく進歩した。網膜をはじめ眼生体組織を2次的、3次的に解析を行うことにより、今まで観察できなかった病変部の微細な変化を捉えられるようになった。

最近では、眼科領域においても研究及び臨床現場においてOCTは網膜の構造の解析にルーティン的に使用されるようになり、学術的な報告が多くなされている。診断や病態の解釈及び学術的検討においても、OCTはより速く、より深く、より高分解能へと進歩が求められている。

これら著しく進歩しているOCTの中でも特に高分解能を有するOCTを用いて得られた鮮明な画像で研究及び臨床現場でどのような成果を得られているのか、御三名の先生方に最近のご研究の成果をお話いただく。

講演 1 新しい網膜外層の見えかた



松井 良諭 先生

岡波総合病院、三重大学

ご略歴

2008年 三重大学医学部 卒業
2010年 三重大学医学部附属病院神経感覚医学講座眼科学 入局
2013年 三重大学医学部附属病院神経感覚医学講座眼科学 助教
2015年 岡波総合病院眼科 医長

講演 2 超高分解能 OCT を用いた視細胞外節の評価



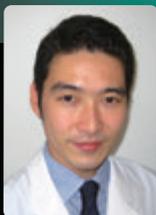
長谷川 泰司 先生

東京女子医科大学

ご略歴

2006年 福島県立医科大学医学部 卒業
2008年 福島県立医科大学眼科学教室 入局
2011年 奈良県立医科大学眼科学教室 医員
2012年 奈良県立医科大学眼科学教室 助教
2015年 東京女子医科大学眼科学教室 助教

講演 3 超高分解能 OCT を使った糖尿病網膜症診療



中尾 新太郎 先生

九州大学

ご略歴

1998年 九州大学医学部 卒業
九州大学医学部眼科学教室 入局
2000年 九州大学医学部大学院医学研究科 (医化学分野)
2006年 米国 Massachusetts Eye & Ear Infirmary 留学
2010年 福岡歯科大学総合医学講座眼科学分野 助教
2013年 九州大学病院 助教
2016年 九州大学大学院医学研究院眼科学分野 助教